

クライアント・サービスの専門家がファンドアドミニストレーション管理における体験を向上させる方法

lvy Bao | シニア・ヴァイス・プレジデント Eastern Fong | ファンド・サービス・アジア地域責任者



クライアント・サービスの専門家がファンドアドミニストレーション管理における体験を向上させる方法

クライアント・サービス・プロフェッショナル(CSP)モデルは、各クライアントに一名の専任担当者を割り当てることによりファンド管理を円滑化し、効率性の向上を図り、コミュニケーションを強化し、クライアントのスムーズな体験を保証します。

ファンドの運用会社は、頻繁にファンド管理サービス会社を再評価することにより、カスタマイズされたサポート、タイムリーな対応、効率的なオペレーションを保持し続けるように努めています。

より統合的なアプローチを求める運用会社に対しては、 CSP モデルによる積極的な関与、リアルタイムの監督体制、円滑なファンド管理を保証することが可能です。

ファンド運用会社がファンド管理サービス会社 を変更する理由

運用会社は、オンボーディング・プロセスの段階で、ファンド管理サービス会社が度々変化するニーズへの対応力の点で問題を抱えていると感じることが少なくありません。一般的な問題は、以下の通りです。

- ポートフォリオと投資目的の不一致(管理サービス会社が投資戦略やクライアントの要求内容を理解していない)
- オペレーションの非効率性(報告の遅延や、投 資家との連絡不足など)
- 厳格なサービス体制(カスタマイズの余地や即 応力が乏しい)

こうした懸念に直接対応するための CSP モデルにより、ファンド運用会社のニーズを理解した上でカスタマイズされた一群のソリューションを提供し、専門知識に精通した個別の担当者をご用意します。その結果、運用会社がサードパーティのファンド管理サービス会社に期待するように、運用会社のオペレーションをシンプルかつ円滑にすることが可能です。

数字で見る CSP モデル

最近の業界の状況からは、多くの運用会社が断片化されたサービス・モデルや管理上の非効率性を理由にファンド管理サービス会社の切り替えを検討している様子がうかがえます。

オルタナティブ資産に関するデータ・プロバイダーである Preqin の最新の調査によれば、オルタナティブ資産ファンドの 43%が、ファンド管理サービス会社の切り替えを検討しています。ファンド運用会社が新たにサードパーティの管理サービス会社を探す上位7つの理由は、以下の通りです。

- 事業成長に伴うサポート拡大の必要性
- コスト
- 投資家の懸念
- 知識および技術
- 規制要件

- 失敗に対する責任の取り方
- 対話とコミュニケーション

CSP モデル:ファンド管理に対する統合アプローチ

CSP モデルは、これら全ての要件に対応し、ファンド運用会社に円滑なサービスを提供しています。そして、ファンド運用会社は、サービス提供における全てに責任を担う一人の専任の専門家と仕事をすることになります。一般的に、CSP プロフェッショナルは 10~20 のクライアントを担当し、定期的に以下の内容に関する会議の場を設けます。

- ファンド会計および顧客確認□ KYC□ に関する 事項、およびその実務に関するベストプラクティス
- FATCA / CRS□ AEOI□ および実質的所有者透明性法□ BOTA□ に関する事項
- ポートフォリオのパフォーマンスに関する洞察 および規制上の検討事項
- ファンド構築および投資家との関わりの優先順位

このトップダウン型の監督体制により、CSP プロフェッショナルは十分な情報を保持し、クライアントを支援できる態勢を常に維持することが可能です。一方、クライアントは、CSP がファンドのオペレーションについて十分に精通していることによる信頼性により、異なったサービス・チームによって生じる非効率性は排除されます。

対照的に、従来のファンド管理サービス会社は、専任の 担当者無しで、チーム共有のメール・アドレスを窓口とし ているため、以下のような問題が生じます。

- コミュニケーション・ギャップ(対象分野の専門知識 不足)
- 対応の遅れ(時差または不完全なポートフォリオ知識)
- サービスの分断(運用会社のマネージャーが何度 も優先順位を再説明する必要が生じる)

Maples グループの差別化要素

Maples グループでは、CSP モデルが専門性、統合力およびクライアント重視のサービスに基づいて構築されており、ファンド・マネージャーに円滑な管理と、ニーズに

応じてカスタマイズされた規制対応サポートを確実に提供します。

当社の強み

- 複数のサービスに及ぶ包括的な専門知識 当社 は、総合的なファンド管理と規制・コンプライアンス 対応サービスだけでなく、受託者責任と法律面のサポートも提供しています。そして、各チームは、規制 機関関係の経験を含む専門的スキルを備えています。オルタナティブ資産マネージャーは、オペレーションを効率化し、中核的な強みに集中することが可能です。
- 戦略重視の非上場企業体制 当社の非上場事業体制モデルにより、当社の焦点は外部の株主の利益ではなく、クライアントの成功とサービスの革新に向けられています。
- 幅広い投資戦略にわたる豊富な経験 数十年に 及ぶ優れた実績を持つ Maples グループは、ヘッジ ファンドとプライベート・アセット・ファンドをサポート し、多様なファンド構成や変化する市場環境に適応 しています。
- 業界随一のテクノロジーおよびグローバルな効率性ー当社は、ベンダーとしての最新の技術および当社独自のファンド管理テクノロジーと24時間体制のグローバルモデルを活用し、あらゆるタイムゾーンのクライアントにリアルタイムで対応しています。
- **専任の現地クライアント・サービス・チーム** 当社 の経験豊富な専門家がファンド・マネージャーと緊 密に協力し、賞を獲得している専門知識を提供し、 実務的で親身なサービスを保証します。

さらに、当社の幅広いグローバル・ネットワークによって 複数の地域にわたるクライアントをサポートすることも可 能であり、規制の変化、投資戦略の変化、オペレーショ ンのニーズ拡大に合わせて柔軟で拡張性のあるソリュ ーションをファンド運用会社に提供しています。

実例: Maples グループがお客様をサポートする方法

Maples グループは最近、アジアにあるベンチャー・キャピタルをクライアントとする仕事に携わり、当該クライアントのファンド 1 つに対してクライアント会計、経営支

援、規制対応サービスを含む総合的なファンド管理サービスを提供しました。

ケイマン諸島にファンドを置くことが最適であると判断されたクライアントにとって、この地域でのファンド運用とオペレーションの外部委託は今回が初めてでしたので、CSPは、ワークフローと規制に関する明確なコミュニケーションの確保のため、以下のような先を見越したアプローチで臨みました。

- 関連成果物と主要業務の日程(四半期毎の純資産価値□NAV□とパートナー資本勘定明細書□PCAP□の報告、監査スケジュール、キャピタルコールや分配の通知など)
- 四半期毎の NAV 報告後電話会議を含む定期ミー ティング(クライアント・サービスのフィードバックを収 集するため)
- オーダーメイドのクライアント向けサービス・パッケージの開発(法律顧問、独立取締役および取締役会サポートを含む Maples の受託者責任・法務サービスも含む)

このような丁寧なアプローチにより、クライアントはケイマン籍ファンドの複雑な組成を円滑に進め、オペレーションの明確さ、規制との整合性、投資家からの信頼を確保しました。

将来も通用するファンド管理

ファンド・マネージャーが引き続き複雑な規制環境にうまく対応し、グローバルに拡大するための総合的で親身なサービス・モデルはますます重要性を増しています。ファンド管理サービス会社の変更を検討している場合は、当社の以前の記事「Changing Your Fund

Administrator□ に含まれる主要な意思決定要素が参考になります。

執筆者のご紹介

Ivv Bao

香港オフィスに勤務する Ivy は、プライベート・エクイティ・ファンド、ヘッジファンド、ファンド・オブ・ファンズをはじめ、金融サービス業界で豊富な経験を有しています。投資家との業務経験もあり、特に主要ファミリーオフィスとの経験が豊富です。香港への赴任前には、Maples グループのモントリオール・オフィスに 5 年間勤務しまし

た。lvy は、モントリオールのコンコーディア大学ジョン・ モルソン・スクール・オブ・ビジネスで商学士号を取得し ており、英語、フランス語、広東語、標準中国語を話しま す。

Eastern Fong

Eastern は、Maples グループのアジアのファンド・サービス事業全体の運営責任を担っています。単一マネージャー・ヘッジファンド、ファンド・オブ・ヘッジファンズ、プライベート・エクイティ・ファンド、日本の公募リテール・ファンドを含む幅広い種類の投資ファンドに対してファンド管理サービスを提供した直接的経験など、20年を超える専門的な会計経験を有しています。Eastern は、ニューサウスウェールズ大学で商学士号を取得し、ディーキン大学で経営学修士号を取得しています(いずれもオーストラリア)。Eastern は英語、広東語、標準中国語を話します。